



年収100万円に?!?

「年収」一億と百万

五〇%が離職。

ユニクロの柳井社長

年収百万円には

は傘下の労働者の賃金が「年収一億円か年収百万円に分かれ中間層が減って行く」可能性を示唆。(朝日四月二三日)

年収百万円となると時給四八〇円位。島根県の最賃六五二円を更に下回る。誰がそんな条件で働くか? だから、経団連や安倍自民党は手を考えている。

かく云う柳井氏の役員報酬は三億円で、株式配当が六五億円。これなら何でも云えるのだろう。

まず、解雇の金銭解決の制度化。これなら労組運動を理由にした不当解雇でも金を払えば解雇出来る。そうすれば労働条件に文句を云う人はいなくなる。

でも、年収百万では家庭を持ち子を育てることも出来ない。

次が労働内容や勤務地等を限定した「限定社員制度」だ。事業所が移転すると「勤務地が契約外」で解雇。賃金が下がっても、黙って従うしかない。

ブラック企業

自民の議席が増えたら大変なことになる。

ユニクロに入社すると、半年で店長に。店の人件費は上から指定されるが不足気味。その予算内に収めなければならぬから、結局若い店長はサービス残業せざるを得ない。かくしてぼろぼろになり、入社後三年以内に

皆さんはどう思われますか?

田植え前

埼玉県小鹿野町長留



美術家平和会議の写生会で埼玉県秩父地方に行った。

梅雨入り宣言のあった直後、どんより曇り、時折思い出したように雨が降る。

目の前の田は、一三日前に代掻きが終わったところ。きれいなならされ、水が張つてある。あと二、三日で田植えだろう。

大磯で過ごした小学校一、二年の頃のこと。山あいに広がる田圃に、オタマジヤクシを取りに行ったら、田植えが始まっていた。

私の顔を知っていたおじさんが「坊ちゃん、〇〇さんの所に行つて早く苗を届けてくれ... て云ってくれないかな?」という。

頼まれたのが嬉しくて、小さな自転車を飛ばして行ったら、丁度、苗を天秤棒で担ごうとする所だった。